橋本コラム トールのトーク

政治と宗教の話題を避ける傾向がサービス業のみならず一般的にも日本人にはあるようだ。宗教はともかく政治を語ることをしなければ政治は衰退してしまうのではないだろうか。もう衰退してるけどね。

先日のこと、仕事が忙しくてニュースもあまり見れないと、普段時事ネタなど口にしない人が「ガソリンが高いのってトランプのせいなの？」と言っていた。「そだよね、イランともめてるから」と、ぼくも受けた。ちょっとした、ぼくとヘルパーとの会話だ。ヘルパーも人数が少ない中でたくさんの仕事をこなすのだからニュースが見れないのも無理はない。働き方改革とはいえぼくたちの命を守る介護の現場はいつだって人手不足だよ。新しいヘルパー来てくれないものかなぁ～。現状ではヘルパーが一人倒れたらみなコケてしまう。リクルートについて事業所も考えてほしいと一利用者として思う。まずい、話それちゃった。

今まではコラムでもトランプにはあまり触れてはこなかったけれど、落ち目とはいえ大国アメリカだ。さすがにいい意味でも悪い意味でもトランプを知らない人はいないらしい。今年１１月の大統領選で消えればいいのに、と思うのはぼくだけかな？メキシコとの国境に壁を作ると当選前から豪語し、就任後はイスラム教国からの入国禁止、地球温暖化に拍車をかけるパリ協定離脱、自国のユダヤ人向けの人気取りにエルサレムをイスラエルの首都にと大使館移転、今回のガソリン高騰の一要因でもあるイラン核合意離脱といいことはやってないよね、どころか、戦争を仕掛けてばかりいる。結果として今や世界のあちこちに目に見えない壁、分断を作ってしまった。平成の初めにベルリンの壁がなくなったと思ったら３０年後の平成も最後にトランプの壁が現れるのだから皮肉な話だ。トランプのやり方を視てると、まるでドラえもんに出てくるジャイアン的人格の代表者が舵取りをしているなぁ、と痛感する。

一方で二大政党制で共和党に対峙するはずの民主党も黙認を決め込み、マジ他国とはいえ民主主義はどこに行ったんだろうか？これって、たぶん格差社会が広がった結果かな。

トランプと同じ喩〈たと〉えでいくと日本の安倍はスネ夫だね、ジャイアンの腰巾着だもん。

日本も支持率は４０％と高くはないにもかかわらず、ある意味でのわがままものが数にものを言わせて舵取りをしている感がする。日本の場合は人事権を官邸サイドに取られた官僚は忖度の限りを尽くし、今や派閥なき大政党は党員すべてが官邸のイエスマン化した。この状況は国民には不幸な事態だと思う。さりとて、日本のまとまらない野党に任せられるような状況ではないのが歯がゆいんだな。せめて、連立したら政権が取れそうな気概でさぁ、自民が危機感を持つくらいの理論武装を怠らない野党になってよね。

今年は桜の開花が早くなるとの予想。「桜を見る会」の招待者は決めたんだろうか？血税を使って自分の支持者を優先しての招待を納税者は許しちゃいけない。国民の財産であるべき公文書は保存しましょ、公文書である招待者名簿、まかり間違えてもシュレッダーにかけるバカはいない、はずだぉ。

こんなこと書くうちにガソリン価格も安定してきました。

（文責：橋本 徹）

（編集後記）新型コロナウィルスが猛威を振るう中での、今回の機関紙編集となりました。静岡市内ではさまざまな行事が次々と中止になり、当団体が3月に予定していた福祉映画祭も残念ながら中止せざるを得なくなりました。これから春の行楽シーズン、そして夏にはオリンピック・パラリンピックが控えています。一刻も早くコロナウィルスが収束することを願うばかりです。

（広報委員 奥村譲）

“どんなに重い障害があっても 地域で共に生きる社会”を目指して！

CONTENTS

それいゆハンドメイドランド・冬の絵本ランド ……2・3
生活介護 THE チャレンジ ……4・5
就業中の重度訪問介護利用を求める動き ……6・7
サポーター×サポーター ……8・9・10
人物紹介 ……11
らるく活動報告・なな～ら活動報告 ……12・13
地域防災訓練・内部防災研修 活動報告 ……14・15
トールのトーク ……16

発行：特定非営利活動法人 ひまわり事業団
静岡障害者自立生活センター
編集：ひまわり事業団 広報委員会
〒422-8006 静岡市駿河区曲金 5-4-58
TEL：054-288-6068 FAX：054-287-4922
E-mail：himawari@scil.jp HP：https://www.scil.jp

年に一度のアートイベント

「それいゆハンドメイドランド」&「冬の絵本ランド」

描いて つくって 想像して うたう

今年もにぎやかに開催した、年に一度のアートイベント。
300 人を超える方が足を運んでくださいました。
世界に一つだけの絵本づくりに没頭するこども、缶バッジづくりを童心に帰って楽しむ大人。シルクスクリーンを色んな場所に刷っていくそれいゆのメンバー。
同じ空間で、関わりあいながらも自分の世界観は大事に。
アーティストさんが、さりげなく関わってくれることで、想像以上の作品がたくさん生まれました。

↑好きなサイズの紙に、好きな画材で思い思いの図を描きました。二つ折りの紙を好きな形に切って、貼って。二つとない自分だけの絵本ができました。

←口から出た言葉を音楽にして。自分の描いた絵から物語が生まれることも。↓

2019·12·15 それいゆにて

今年で2度目を迎えるこのイベントは、アートを通して色んな人が自由な発想でものづくりを楽しむ一日です。
決まりごとは一切なく、複数のワークショップを行き来しながらオリジナルの何かができあがっていきます。様々な手法で、自分に合った表現方法を見つけ出していきます。

場所を変えて、いろんな人と描く

12 月 15 日のイベントを迎える前に、南部特別支援学校さんと、ラポール　チャクラさんへそれいゆのメンバーが出向き、 BOBho-hoさんが用意してくれた画材で、大きな布へ皆で思い思いに描きました。
長い棒を付けた絵筆は、車いすのまま、又は立ったままでダイナミックに描くことができました。
出来上がった布は、15 日のイベントでシルクスクリーンを施し、ファブリックパネルに仕上がりました。

— Special thanks —

協力：静岡県立南部特別支援学校、ラポール　チャクラ、常葉大学保育学部山屋ゼミ、CANVAS、Hygge
後援：静岡市教育委員会
助成：子どもゆめ基金
artist：BOBho-ho、吉田朝麻、すずし、とづかゆう、こながやさき、溝田亜美
direction：BOBho-ho

たくさんの笑顔、ありがとう

今年もたくさんのアーティストさんと、常葉大学保育学部山屋ゼミの皆さんに支えられてあっという間の一日でした。
2018 年のイベントから、一年で大きな繋がりと成長がありました。
福祉の枠にとらわれず、色んな人と関わり経験していくことで大きな力となっていくことを、一人でも多くの人に知ってもらえるよう、今後も続けていきたいと思います。

（文責：就労継続支援 B 型　鈴木梨可）

“何もしなければ何も始まらない！”“待っていても現状は変わらない！”
自分という壁、不可能という壁、世間という壁、常識という壁、すべての壁をぶっ飛ばせ！！

生活介護 それいゆ

THE ちゃれんじVol.3

大橋剛和vs花井大輔 目指せ100点 夢のカラオケ対決！

In カラオケ BanBan 静岡豊田店

生活介護それいゆの「ちゃれんじ企画」も変身企画から始まり、ボッチャを通じて地域とのつながりを経て、今回で第３弾！
次はどんなことにチャレンジしようかと話し合いを重ねる１月のある日…それは、利用者のひとことで決定した。
「カラオケボックスへ行ってみたい！そこで大きな画面を見ながら、思いきり大きな声を出して歌いたい。まして、点数が出るなら最高！どうせなら点数を競い合いたい。」これだ！！
それいゆメンバーの中には未だかつてカラオケボックスへ行ったことがない方もいる。
カラオケボックスへ行くこと自体が、まさにちゃれんじなのだ。
今回の対決者は自称それいゆのムードメーカーである花井大輔さん（左）と大橋剛和さん（右）。

【カラオケ店情報】
店内は入口に 4～5 段の段差があり、今回は事務所から持参したスロープを持参したが、車椅子での利用は困難。ただし、スロープがなくても店員さんが車椅子を持ち上げてくれるなど配慮はして下さるようだ。

Ohashi Takekazu

事前にインターネットで高得点を狙える歌い方を調べたが、器械によって異なるようで今回は自分の歌唱力を信じて歌った。ある意味、計算ではない本気の勝負だ。
この２人は、普段からそれいゆでもカラオケで歌声を披露していて歌唱力はなかなかのものだ。
大橋さんは 50 代。
選曲は古いものの、安定した歌いっぷり。

Hanai Dishuke

一方、20 代の花井さんは声量が抜群。
若干勢いで歌う傾向にあるが、J-POP からしっとりバラード、さらにはアニメまでサラッと歌いこなせるのはさすがだ。
勝負は花井さんが得意の USA で徐々に点数を上げていくのに対し、負けず嫌いの大橋さんは花井さんの点数結果を気にしながら真面目に必死にくらいつく。20 代の若僧に負けてたまるかとプライドに火がついた。計８曲を歌ったが、大橋さんはブレることなく 80 点台をキープ。一方、花井さんの出だしは好調だったものの、後半疲れてきたのか 70 点台に下落した。まさに陸上の長距離・短距離走のようだった。

今回のちゃれんじ企画は、大橋さんの勝利で幕を閉じた。
本当は 100 点を目指していたのだが、それはプロでも難しいようで欲はかかないことにした。
これからも生活介護それいゆでは、色々なことに挑戦していく予定だ。
あくまでも予定だが、次回は女性陣の華やかな企画を検討中。
その他にも BIG 企画も計画している。乞うご期待！

（文責：生活介護　鈴木香奈、遠藤和徳）

対決には男性職員２名が同行した。今回、少し笑えたのが偶然にも参加者全員がメガネだったこと（笑）。

重度障害者も 介護を受けながら働きたい！

～「介護」と「就労」の両立をめざして～

二人のれいわ議員がまきおこした議論

れいわ新選組から昨年当選した２人の参議院議員（船後靖彦氏と木村英子氏、ともに重度障害者）の、「議員活動中における介護」の問題が世間の注目を浴びました。重度障害者を支える障害福祉サービスのひとつである重度訪問介護が、「通勤時や就労中は使えない」という原則があるのに対して、２人は制度の見直しを求めたのです。

厚労省は、当初、重度訪問介護を利用する人の就労実態を調査した上で、「職場で過ごす時間や通勤時の介護も公的支援の対象とし、障害者の就労機会の拡大を目指したい」と、当初は、前向きともとれる発言をしていました。

ところが、いざフタを開けてみれば、結局
「重度訪問介護自体の見直しは見送り、**①従来ある雇用助成金を拡充**することと、それでも不足する場合は、**②自治体が行う地域生活支援事業を活用**してもらう…」
という、少し残念な結果に落ち着きました。

これには問題がある ①

重度障害者就労支援 拡充

厚労省方針 企業への助成金アップ

重い障害のある人の「重度訪問介護」が就労中は公的補助を受けられない問題を巡り、厚生労働省は15日、就労中や通勤時の障害者をサポートした企業に支払う助成金を拡充する方針を固めた。重い障害のあるいわ新選組の船後靖彦参院議員らが、公的補助の対

重度訪問介護　重い身体障害などがある人に対し、ホームヘルパーが入浴や食事、排せつなど生活全般を助ける障害福祉サービス。今年7月時点で利用者は全国に1万1千人を超える。通勤や営業などにも利用できるが、通勤にかかる支援」や「通年」は対象外となり公的補助が

令和元年 12 月 16 日　静岡新聞より

①雇用助成金を拡充…で、
国はあくまでも合理的配慮の一環として、企業側に介護を提供することを求めるつもりのようですが、そもそも建物にスロープやトイレを整備することとは異なり、重度障害者の介護は、企業側にも大きな負担であり、合理的配慮の範疇を超えたものではないでしょうか？
それに、医療的ケアが必要な場合もある重度障害者の介護は、ふだんから本人独特の障害特性の理解が出来ている重度訪問介護ヘルパーでなくては不可能です。
さらにつけ加えると、重度障害者の仕事上のサポートと介護の両方を、助成金によって企業側が用意した一人の職員がとうてい担えるはずもありません。

これには問題がある ②

②雇用助成金で不足する場合は、地域生活支援事業を活用…とありますが、
地域生活支援事業は義務的事業ではなく、必要性の判断はそれぞれの自治体に委ねられているので、いったいどれだけの自治体が、前向きに取り組んでくれるか？は、正直言って、非常に疑わしいところです
（国はこの予算として 15 憶円を計上）。

重度訪問介護とは？

重度訪問介護は、障害者の自立生活運動の中から生まれた、重度障害者にとって無くてはならない制度です。
身体介護にも家事援助にも使えて、移動もできて、長時間連続で使えて、しかも「見守り」にも使える…シームレス（継ぎ目のない）で、非常に使い勝手のいいサービスです。
重度訪問介護があるからこそ、多くの重度障害者が、施設や親元を離れて、ヘルパーを使いながら、地域で自立生活をおくることができるようになったのです。
また、24 時間 365 日派遣される重度訪問介護ヘルパーがいるからこそ、人工呼吸器を使用して、たんの吸引などの医療的ケアを必要とする障害者が地域で暮らせるようになったのです。
しかし、オールマイティーにも見える重度訪問介護にも、出来ないことがあります。
それが「通勤時や就労中は使えない…」という部分なのです。
国はこの理由として、「個人の経済活動に公費を使うことは好ましくないから…」と言っています。しかし、これでは、重度障害者は働くことが困難なままです。

「介護か就労か」ではなく、「介護も就労も」の時代

昨年 10 月、ベッドの上で寝たきり状態の重度障害者が、視線入力装置の付いたコンピューターで自分の分身ロボットを操作して、カフェで接客サービスをする実験が行われました（分身ロボットカフェ DAWN）。
医療とテクノロジーの進化によって、そう遠くない未来、重度障害者が就労することが当たり前になる時代が訪れるかも知れません。
でも、「通勤時や就労中は重度訪問介護を使えない」という、今の制度のままだと、介護サービスを使いたい人は、ボランティアとして無給で働くしかなく、一方、就労を選んだ場合は、重度訪問介護ヘルパーを使うことができません。就労中の介護は、家族などにお願いするしかないのです。
「介護か？就労か？」の二者択一ではなく、「介護も就労も」すなわち、重度障害者が介護を受けながら就労できる時代が、少しでも早く来ることを、私たちは切に願っています。

文責：静岡障害者自立生活センター　奥村譲

サポーター×サポーター

MASAHIRO MIYAGAWA × HISAYASU RATI

Vol.7

みやがわ　まさのぶ
宮川　真暢さん

誕生日：1991 年 12 月 2 日（28 歳）
血液型：A 型
障害：たぶん脳性マヒかな？！

らち　ひさやす
良知　久靖さん

誕生日：1988 年 11 月 15 日（32 歳）
血液型：A 型
ヘルパー歴：7 年

このサポーター×サポーターは、サービス提供の場面で利用者・ヘルパーという立場から、個性を持つ『人間同士』として、時に衝突しながら関係性を深めていったペアに取材をしていく連載企画です！
「利用者」「ヘルパー」としてサービス提供をする側、される側という一方通行の関係性を超えた 2 人にそこまでに至ったエピソードやお互いへの気持ちをお聞きし、ご紹介します。

Point

2 人はまだまだ発展途上！ ヘルパーとの外出を通じて挑戦は続く？！

まずは宮川くんがヘルパーを使い始めたきっかけは？？

宮川：2015 年くらいから使い始めたかな。元々、出掛けることは好きで、それまでは、外出は母親と一緒だっだけど、それいゆ（就労継続支援Ｂ型）とかで、みんながいろんなところに出掛けている話を聞いて興味を持ちました。そのあと、職員さんの勧めもあって使い始めました。最初は『ヘルパーさんって本当にそんなに楽しいの？』と疑問もありました。

実際、使ってみてどうだった？？

宮川：もちろん最初は不安も大きかったし、緊張もしました。
それまで『1 人でやらなきゃ！』みたいな気持ちが強かったけど、ヘルパーさんが一緒にいることで、自分では手が届かない高いところの本が取れたり、コーヒーショップで過ごしたり・・・今では自然にヘルパーさんにお願いできることも増えました。
ヘルパーさんとだから、『ここに行きたい』と自分の気持ちも素直に言えるし、母親とは話せないことも話せて楽しく過ごすことができています！買物するのも、大分慣れました！

宮川：ユニクロで自分で洋服を買うなんて考えられなかった！ 今では自分で店員さんに声もかけます。

良知さんと初めて一緒に行ったところってある？？

宮川：いくつかあるけど、マークイズのユニクロに行きました。ユニクロで服を試着して買うなんて初体験です！それいゆで、ドラえもんのＴシャツを友達が着ていて、欲しくなって挑戦してみました！今でも、みんなの服を観察してます！時間が 1 時間半なので、商品見て、試着してってバタバタするもの楽しい。時間が足りなく感じて悔しいです。

※ 因みに、マークイズのユニクロは車イスでも入れる試着室があるんです。

良知ヘルパーとの時間はどうですか？

宮川：良知さんは親切だし、自分が盛り上がっている話も受け止め、聞いてくれる。年齢も近いので話題が合って楽しい！
自分は難しく考えて、悩むタイプ。ヘルパーさんから提案されることは嫌ではないけど、混乱してしまうことも。良知さんはたくさん提案するタイプではないので、安心してます。でも、自分が盛り上がって話してしまうので、話のテンポとか理解してもらえているか心配にはなります。

続いて良知ヘルパーにもインタビュー！

宮川くんとの時間はどうですか？？

良知：新しいものに挑戦するのを見れたり、成長が見えたりするのはすごく楽しい。
宮川くんはじっくり悩むタイプ。決めたり、考えたりするのは、すごくゆっくりだけど、本人の時間なので、じっくり付き合いたいと思っている。
アニメが好きで、いろいろ話してくれるが、正直見ていないアニメでコメントに困ることもある（笑）宮川くんがボクが知っているアニメに合わせてくれたりするので、気持ちよく話せるように、時々ネットで予習してます。

宮川くんとの時間で気を配っていることはありますか？

良知：情報の出し方ですかね。いろいろ提案したり、宮川くんの見えない範囲の情報は不安につながるので、小さな提案を心掛けています。『本屋に行けますか？』と時間の確認があったときに『本屋は無理だけどスーパーには行けるよ』など。提案したくなる気持ちはわかりますけどね。1 つずつ伝えるように意識しています。普段は終了時間の 10 分前くらいしか声をかけないです。

密着取材！！
2人の外出にお邪魔しました！

この日の行先はブックオフ！年末年始で出た掘り出し物を求めて　Ｇｏ！

じっくり悩み、買い物を楽しむ、宮川くん。（約１時間）それを静かに見守る良知ヘルパー

最後に今後行きたいところとかありますか？

宮川：それが課題なんですよね。雨が降ったときの過ごし方がイメージできれば、もっと長い外出も計画してみたい！１０月にそれいゆでディズニーランド旅行に行ったときに、雨の予報だったけど、当日は晴天だった。それをきっかけに、長時間のお出かけもイメージできるようなった。三島スカイウォークとかＣＭで見たので気になっている。

良知：前は曇りでも出掛けなかったのが、小雨でも『行ってみよう！』と出かけられるようになったので、電車に乗ってみたいですね。今までバス移動しか経験がないので。どんな反応をするのか楽しみです！

これまでのサポーター×サポーターは長時間一緒に過ごす皆さんに取材してきましたが、今回の宮川さん×良知ヘルパーは１回１時間半の過ごしを数年続けてきました。
ケア内容がほとんど決まっていない移動支援は、対応することの難しさを言われることもありますが、だからこそ、自由な時間の使い方は『その人らしさ』が出る場面ですね。そこに添う時間は個別対応のヘルパーとしての楽しさの１つでしょうか。　（取材ピアサポート：宋　裕子）

人物紹介

鈴木（すずき）　明美（あけみ）さん

長年、ひまわり事業団にボランティアとして関わってくださる鈴木さん。
就労継続支援Ｂ型に通う利用者さんを、いつも温かく迎え作業の手伝いをしてくれます。
今回は、鈴木さんに今の想いをインタビューさせていただきました。

六十才で仕事を退職して、早速、社会福祉協議会からボランティアの資料を取り寄せました。今までボランティアをした事がなかったので、少し不安でしたが家の近くのデイサービスと、ひまわり事業団の「のあのあ」へ行く事に決めました。仕事を退職して直ぐなので近所の人はまだ仕事を続けているように思っていたようでした。

「のあのあ」では、利用者さんと話したり、片付けをしたり、又、近くへ出掛けたりして、とても楽しく過ごす事ができました。

それから少し経つとバザーを始めることになりました。近所の人や通る人がバザーをとても楽しみにしているようでした。「こんなに安いのかね」とか、色々とお話ができて、とても嬉しくなりました。又、利用者さんが元気でバザーを頑張っている姿を見ると、とても嬉しくなりました。又、私の友人が手作りの袋をバザーに出品してくれて、とても有難かったです。

利用者さんと一緒に仕事ができることが、私のとても楽しみのひとつです。

ひまわり事業団の「それいゆ」として皆さんからたくさんの笑顔や温かい言葉を貰って、これからも続けたいと思います。そして、ひまわりの花が毎年大きく綺麗に咲くことが楽しみです。

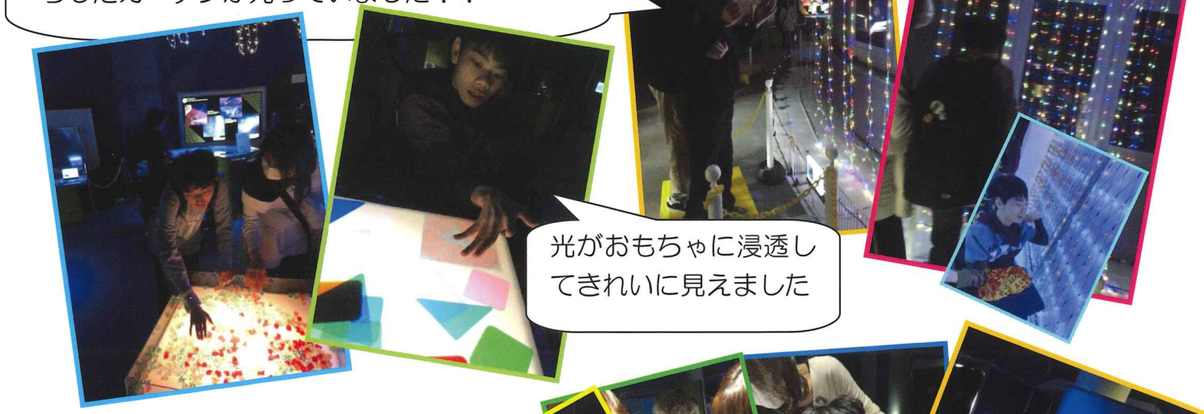
※「のあのあ」は、以前ひまわり事業団にあったバザー商品を販売するお店。現在は就労継続支援Ｂ型「それいゆ」でボランティア活動を継続中。

らるく活動報告

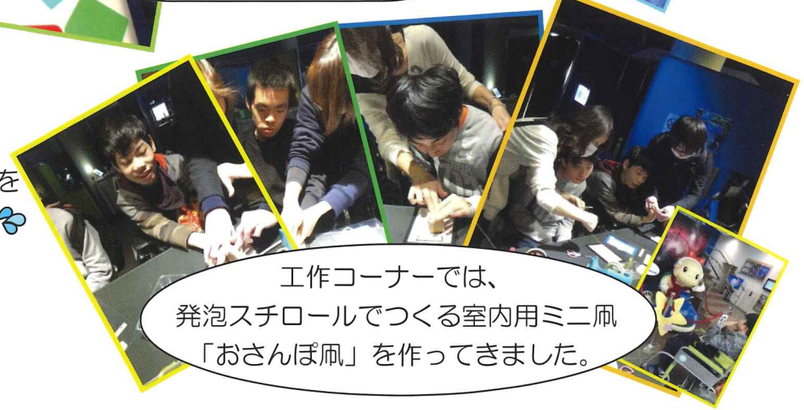
らるくでは月１回の土曜祝日開所し、
外出 DAY とし、お出かけを楽しんでいます。

2020 年１月 11 年（土）
焼津ディスカバリーパークへ行ってきました。
初めて行く子もいれば、何度か遊びに来ている子もいましたが、らるく外出では
初お出かけとなりました。

「遊べるイルミネーション　まっくら遊園地」
台の上でジャンプすると、沢山の電飾のきらきらしたカーテンが光っていました！！



光がおもちゃに浸透してきれいに見えました

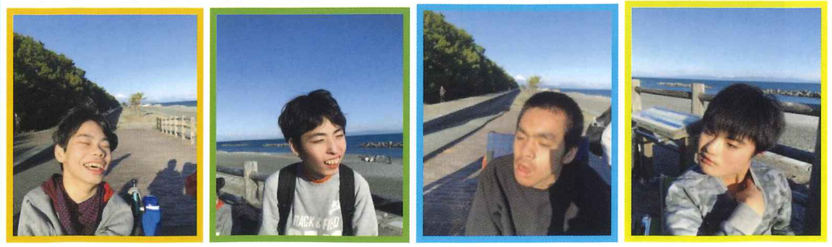


工作コーナーでは、
発泡スチロールでつくる室内用ミニ凧
「おさんぽ凧」を作ってきました。

プラネタリウムでは
イベントのクレヨンしんちゃん
「星空と学校の七不思議だゾ」を
見てきました。写真は撮れず～

（文責：らるく　芝野琴奈）

帰りに海を見に行くと富士山もキレイに見ることができました！



グループホーム
なな～ら

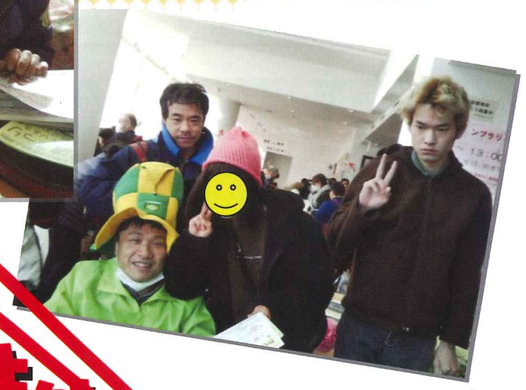
なな～らでは毎月いろいろな行事を楽しんでいます。皆、仲良しで外出等の行事を楽しみにしています。

１月　初詣・お誕生日会
２月　交流まつり・いちご狩り
３月　ランチ外出・お花見

最近の活動報告

２月２日（日）
今月の外出行事で、清水区社会福祉協議会主催の市民交流まつりに行ってきました。仕事ぶりを拝見、出店する仲間を応援！照れながら「いらっしゃいませ」と、声を掛けてくれました。

スタンプラリーの
手話ジェスチャーゲームや
鬼の的当てゲーム。
いろんなクイズに挑戦！



鬼は外！福は内！！

皆で豆まき！
な～らの厄は追い払え、
今年 １ 年安心安全に過ごせそうです。
夕飯は恵方巻を食べながら、
皆は何のお願いをしたのかな？

（文責：な～ら　清水かおり）

地域宿泊防災訓練に参加しました！

2019年11月30日(土)～12月1日(日) in 静岡市立豊田中学校

2019年11月30日(土)から12月1日(日)、豊田中学校で「西豊田学区地域支え合い宿泊防災訓練」が行われました。
これは、静岡県立大学 短期大学部の江原教授、ひまわり事業団理事で静岡市障害者協会の牧野さんがアドバイザー兼実行委員をつとめ、社会福祉協議会や自主防災組織、民生委員といった皆さんが中心となり、地域の力で避難所設営と運営の訓練を行う企画で、今回６回目になります。

今年はひまわり事業団からも、グループホームななーらの住人をはじめ、多くの当事者が参加しました。この訓練の一番特徴的なプログラムに「※リアルHUG（ハグ）」があります。近年、県内外の災害避難訓練等で積極的に採用されており、聞いたことがある方もいるかと思います。リアルHUGはこのゲームを基に、カードと図面ではなく、訓練の参加者が避難所の運営と、そこでの生活をロールプレイする訓練です。

※HUG とは、避難所(Hinanjo)運営(Unei)ゲーム(Game)の頭文字。様々な避難者の情報が書かれたカードを、避難所に見立てた図面の上にどうやって配置し、どうすれば適切な避難所運営ができるかを体験する、静岡県で考案されたゲームです。

実際の発災時、避難所には多くの障害者や高齢者、外国人など特別な配慮を必要とする方が避難してきます。避難所を運営するスタッフは、「要配慮者」の特性を把握し、誰にどういった配慮・支援が必要なのかを踏まえて行動することが求められます。リアル HUG では実際の当事者や、「要援護者役」を与えられた参加者と関わることにより、多種多様な「配慮」について考え、発災時の避難所運営のシミュレーションを行う事ができます。
静岡県は、30年以内に震度7クラスの地震災害に見舞われる確率が70%以上の地域であると言われています。いざ災害が起こった時、本当に避難所で生活していくことができるのか？もし避難所に居られないとしたら、どのような備えが必要なのか？そういったことを、誰もが考える必要があります。また、発災時には出来ることでお互いを助け合う「共助」の姿勢が求められます。私自身もこの訓練を通して、日ごろから発災時を想定して、自分に何ができるのか、何をすべきなのかを考え、備えておくことが非常に重要だと改めて実感しました。訓練では、その他にも安否確認訓練や各種講座、ワークショップ、ペット避難体験といったプログラムが行われ、多くの参加者にとって有意義なものになった様子でした。

ひまわり事業団も地域の一員として、今後、より積極的にこの事業に関わっていくことになると思います。皆さんも、この記事を読んで興味を持ったら、来年の訓練に参加してみませんか？でも、その際はくれぐれも、防寒対策をお忘れなく(笑)

（文責：ピアサポート　劉瑛哲）

講師を招き防災研修を実施しました！

2019年11月25日(月)　講師：渡嘉敷 唯之さん

本年度の内部研修として、県内外の主に福祉現場でのリスクマネジメントを行っている渡嘉敷唯之氏を講師に招いて「福祉事業所の災害対策基礎研修」を行いました。

参加した職員２５名を５グループに分けてのグループワーク形式の研修でした。
まず、東日本大震災や西日本豪雨で被災した福祉施設を実例として、写真を交えて紹介して頂きました。

次に映像を交えて
- ハザードマップで利用者や従業員宅の危険性や、避難経路を把握する必要性。
- 緊急時の通報手段を確保する必要性。
- 避難所の実情を把握しておく必要性。
- 災害時の電源確保をする必要性。

これらを平常時からいかに意識しておく事が
災害時の初期動作に繋がると教えていただきました。

■講師プロフィール
渡嘉敷 唯之（とかしき ただゆき）
株式会社 CoAct 代表取締役
主任介護支援専門員、介護福祉士、防災士等重要心身障がい者施設や居宅介護支援事業所など福祉の仕事に従事。東日本大震災がきっかけで福祉事業所の災害対策の支援を始める。主に福祉事業所対象にBCP（事業継続計画）の策定やBCM（事業継続マネジメント）体制構築のアドバイスを提供。その他、地域の連携防災、福祉事業所のチームマネジメント支援なども行う。日本財団の被災地支援や地域対象の訓練や研修のスタッフ等も担当。仕事とは別に被災地支援も行う。

グループワークではブレインストーミングを行いました。
- 地震発生時に起こりうる事態を一人５個考える
- それぞれの意見をカテゴリー別にする
- それぞれのカテゴリーの重要度の割合を数値化する
- 割合したうち、どれ位できているかを数値化する

その結果どのグループも点数が低く、当団体の防災意識の無さが浮き彫りになりました。
この研修を通じて、以下の事を行いました。
- ハザードマップや備蓄の確認
- 緊急時のガイドライン作成
- BCP（事業継続計画）の作成

また、改めて緊急時の対応を考えていこうと思いました。

（文責：静岡障害者自立生活センター　比嘉靖知）